

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 6 月 8 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	重油ボイラから天然ガスボイラへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	紀和化学工業株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	紀和化学工業株式会社 貴志川工場 (和歌山県紀の川市貴志川町北 196-1)
事業の概要	A 重油ボイラ 4 台を天然ガスボイラ 4 台へ更新する。ボイラを更新することにより、ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2010、2011 年度：926 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,852tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2011 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所： 紀和化学工業株式会社 貴志川工場 (和歌山県紀の川市貴志川町北 196-1)
追加性を有すること	1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地において事業者への質問等により確認した。 3) 排出削減事業の投資回収年数は 9.0 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。 4) 事業者においては、更新前設備の CO2 排出量が多く、環境配慮意識から CO2 排出を減らしたいと考えていた。事業者は、環境省自主参加型国内排出量取引制度 (JVETS) にも参加しているが、当初から JVETS と国内クレジット制度の活用を意図しており、国内クレジット制度の活用によって、CSR 活動・環境への取り組みに対するアピール効果が期待できることが事業実施の一因となっている。
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者への質問、関連資料の閲覧等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。
排出削減方法論に基づいて実施されること	1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。 適用条件 1 : 既存ボイラ並びに新設ボイラについて、メーカー提供のボイラ効率計算書、ボイラ診断月報を参照

	<p>し、高効率のボイラ設備に更新されたことを確認している。</p> <p>適用条件 2: 既存ボイラの過去の運転・メンテナンス状況を確認し、更新を行わなくても既存設備のまま継続的に使用できることを確認している。既存ボイラは、法定耐用年数を超過しておらず、問題がないことを確認している。</p> <p>適用条件 3: 事業実施前及び実施後のボイラ蒸気が、継続的に自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及びヒアリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上